

平成30年8月30日 (No.29)

上川口福祉推進協だより

上川口地区福祉推進協議会

日本中が水害や土砂災害に悩まされ、おまけに今までに経験したことのない暑さが続く中での生活でしたが、上川口地区推進協の皆さんには、いかがお過ごしでしょうか。聴けば聞くほど、当初の予想とは違うところで、あちらでもこちらでも、被害に遭われた方々がありましたことに、心からお見舞い申し上げます。

とにかく暑い日本の夏、福知山の夏でした。災害といっても、土砂を掻いて疲れ、暑さがまた続いて元気をためられる厳しさでしたが、無理や我慢のし過ぎにならないように、声を掛け合って、まいりましょう。

合歓の会

—ひとり暮らしの方の—

日帰り旅行

北部民児協の活動で、宮津方面日帰り旅行がありました。出席された方の感想やご意見なども聞かせていただきましたので、次年度への参考にさせていただきます。

鬼の交流博物館を見学してから、大江山を越えて、宮津のホテルでの“発表や交流”、会食、踊りなど。

□鬼の交流博物館では、「地元の歴史」について、学術的なものを踏まえた説明がありました。単なる伝説の“鬼”に流されない日本各地や世界の“鬼”の展示がされていて、立派なものでした。

4回、5回と行って、ゆっくりと味わうこともよいのではないのでしょうか。

□ホテル (Hotel & Resorts KYOTO—MIYAZU) では、カラオケ、エンターテインメント、福知山音頭などを賑やかに楽しむことができました。会員相互の理解と親睦が深まりました。

会場についてですが、トイレは目に付きやすい所にあってよかったし、会場が例年同じ場所であったとしても、勝手がよく分かるということもありま

す。

宴会の食事・飲み物については、あれぐらいでまです。また、司会・進行は無理なく適当でした。

□エンターテイメント（みやこ一座）について；

バカバカしそうに見えて、人間の奥深い心が演じてあったように思えます。一見すると、同じような衣装に見えましたが一つ一つかなり凝っていました。

□買い物（丹後の鮮魚屋 橋立やまいち）

甘酒を試飲で飲ませてもらったり、買う品数も多くあったりして、自分の買いたいものもあり、それぞれ楽しむことができたのではないのでしょうか。

感想、つぶやき

被災者の方の声や
話し合いなどから

□民生委員や自治会役員の話し合いの中から；

—今回の7月西日本豪雨とその後続いた高温の日々について—

a 避難しよう、ここでの避難が一番大事、もうそろそろ避難が必要なのは、と思っていた人が、予想もしない谷川や側溝に土砂や流木があふれてきて、生活道路を寸断されてしまった例が多くありました。

家が孤立したりして、牧川の近くではない、山側の少し高い家でも、土砂や流木の被害に見舞われていた例が多く見られたのが、今回の特徴かもしれません。

b 自分の力だけでは避難できない人もあるなかで、「避難勧告」段階で、事前の話し合い通り、組長さんや隣の方の連携で避難されていた例。

c 避難をするにあたって、一緒に軽自動車を都合して、運転をされた隣の人や組長さんにはご苦労様でした。『避難警報や』『避難指示』に合わせた行動をすることは、かなり大変なことでしょうけれど、事前の「話し合い」通りに事故無く行われたことはすばらしいことだと思えます。

d ボランティアの人たちを受け入れる態勢づくりは、人と現場との連絡など、大切な役目だったし、それを果たせてよかった。

e 手弁当のボランティアの方に限らず、自治会の方々には、お茶、お水だけで、よく動いて下さり、本当に感謝します。